

絲綢之路

シルクロード

S I L K R O A D

2017-秋

No.85

●表紙の画および題字は、
故・平山郁夫画伯のご厚意により
ご提供いただいているものです。



清涼寺 2004年



【葡萄唐草模様について】

古代、ペルシャ、コーカサス生まれの葡萄が蔓草と一つになり、西へ、東へ、シルクロードを経て東西の文化を彩る文様となりました。私どもの財団ではシルクロードを中心に、世界の文化に寄与できればと、この葡萄唐草文様をシンボルマークにいたしました。

●シンボルマークデザイン：吉田左源二

今年四月に恩賜上野動物園園長を拝命しました福田豊です。よろしくお願ひします。

皆さま、最近、動物園に行つたことがありますか？子どもの頃、家族で、幼稚園や小学校の遠足で行つたと言う人は多いと思います。大人になってからはどうでしょう。結婚し、子どもが出来、久しぶりに家族連れで動物園に出かけてみる。すると、動物園の変化に驚きます。かつて、動物園は異国の動物を展示して人々の好奇心を満たしていました。今日の動物園は娯楽の提供の他に、環境教育や生物多様性保全、調査研究など多様な役割を担っています。動物園は、動物や自然のことを学ぶ場として、大人も子どもも楽しめる施設になっています。

上野動物園は日本最初の動物園です。明治十五年（一八八二）に開園しました。今年の三月二〇日で百三十五周年を迎えました。開園当初、上野動物園は農商務省博物館の所管する博物館の付属施設でした。国立動物園として、近代日本の文化施設の一翼を担っていました。大正十三年（一九一四）、昭和天皇の御成婚を記念して東京市に下賜され、昭和十八年（一九四三）に東京都が発足したのを機に東京都恩賜上野動物園となりました。平成十八年（二〇〇六）から指定管理者制度が導入され、公益財団法人東京動物園協会が上野動物園を管理運営しています。なお開園当初、動物園内にあった「観魚室」は日本の最初の水族館で、現在は発展して葛西臨海水族園となっています。

上野動物園には東園と西園があり、合わせて約十四ヘクタールほどの広さです。この中に、約三五〇種、二五〇〇点の動物が飼育展示されています。ジャイアントパンダ、オカビ、コビトカバ、ニシゴリラ、アイアイ、スマトラトラなど絶滅危惧種も多数います。平成二十八年（二〇一六）度の年間入園者数は、国内では最も多い三八四万人でした。上野動物園は日本を代表する動物園として、展示の工夫や希少野生動物の繁殖、環境教育、調査研究などに積極的に取り組んでいます。

今年六月には、ジャイアントパンダのメスのシンが産卵し、子パンダが二十九年前に成長しています。上野動物園では、昭和四十七年（一九七二）からジャイアントパンダの飼育繁殖に取り組み、今年で四十五年になります。その間、「トントン」と「ユウユウ」の二頭が誕生し成育しています。今年生まれの子どもも二頭同様に健康に成長し、来園者をたくさん楽しませてくれることと思います。

ところで、ジャイアントパンダ（大熊猫）が世界に紹介されたのは、一八六〇年代の終わりです。フランス人宣教師のアルマン・ダヴィド（一八二六―一九〇〇）が、中国四川省鄧池溝の山中で目撃したことからはじめられます。鄧池溝は、シルクロード途中の都市「成都」から少し入ったところですが、白黒の奇妙な熊の毛皮が、もしかするとシルクロードの商人によって西安まで運ばれていたかもしれませぬが、十九世紀になるまではほとんど知られていませ

んでした。珍獣ジャイアントパンダが、日中友好の使者として日本に渡り、今日のように人気者になるとは、天国のアルマン宣教師も、これを知ったら驚くことでしょう。

終わりに、上野動物園は今年七月、子ども動物園と弁天門をリニューアルしました。子ども動物園は、終戦からわずか三年後の昭和二十三年（一九四八）に現在の表門近くに開園しました。戦後の混乱期でまだ娯楽の少なかった子どもたちのために、動物と間近に接することのできる日本初の施設でした。五度目になる今回のリニューアルでは、「小さな子どもが初めて動物に出会う場、そして動物や自然について学びはじめる最初の一歩となる場にした」という気持ちを含めて、「すてっぶ」という愛称をつけました。子どもの年齢に合わせた様々な展示や体験プログラムを展開していきたいと考えています。上野動物園は、これからは世界に誇れる動物園として、また上野の街の一員として進化していきます。上野動物園の「動物のことを伝え、動物をまもる」取り組みを応援してください。よろしくお願ひします。

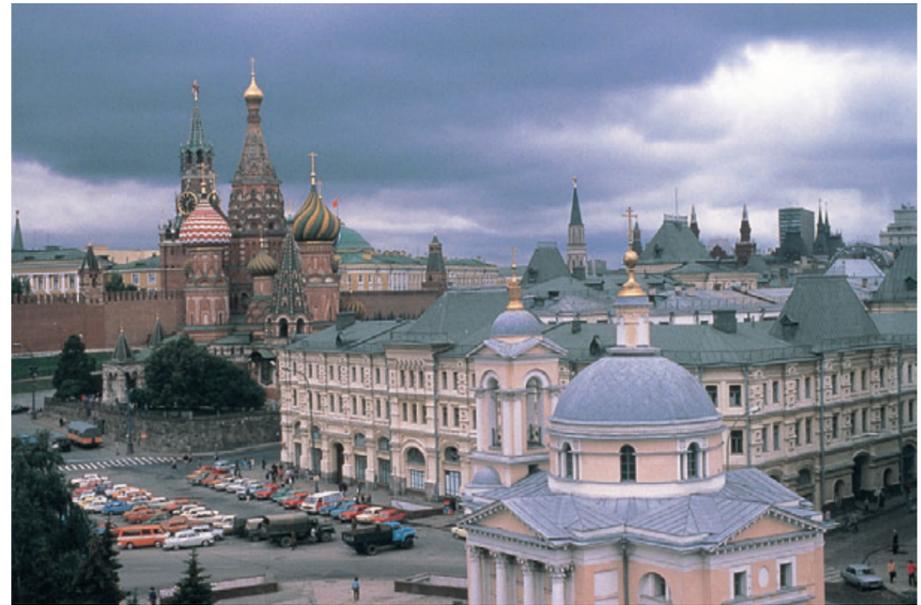


公益財団法人東京動物園協会
恩賜上野動物園園長
福田豊
(ふくだ・ゆたか)

夢と希望を胸に秘めて——就任ご挨拶

モスクワのクレムリンと赤の広場

(ロシア連邦)



ユネスコ世界遺産（文化遺産）シリーズ

©UNESCO

モスクワ川とネグリンヤナ川の合流点の大地に建つ城塞宮殿。高さ十〜二十メートル、幅四〜六メートルのレンガ造りの城壁で囲まれ、城塞には高さ八十メートルのトロイツカヤ塔など、十九の尖塔がそびえている。

「赤（美しいの意味がある）の広場」は長さ七百メートル、幅百三十メートル。イヴァン三世が命名。赤の広場のシンボル、ヴァシーリー聖堂は、十六世紀中頃イヴァン四世（雷帝）が設計させたものである。玉葱形屋根を持つ円柱状のチャペルは、大小九つの塔が寄り添って一体となっている。

（一九九〇年に文化遺産として登録）

公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

「素心伝心——失われた刻の再生」への誘い

シルクロードに生きた人々の神仏への
崇敬の念。その想いを今に伝える貴重な遺跡群。
最新の記録技術によってその全貌を見る。

文化財の保存・活用への新たな技術開発

諸行無常、形あるものはしばしの存在を誇ったのち、煙のごとく跡形もなく消えて行く。政治と宗教と文化が微妙に入り混じった形象が盗まれ、劫掠、打ち壊しの危難にあった例は歴史をいくつもある。そこには人智では測り知ることのできない時代のうごめきがあった、人間は鬼の踊りを舞うのである。

奈良東大寺は古代末と中世末の二度にわたって焼き討ちにあった。それでも大仏殿は蘇生して今日のように



復元した釈迦三尊像光背の3Dモデル



敦煌第57窟の壁画を再現する

にあるのは、人の心に深く働きかける勸進とともに、それに共鳴する民の力があつたからであろう。初秋九月二十三日から東京藝術大学の美術館（三階）でシルクロード特別企画展《素心伝心》が開催されている。素心とは、傷つき失われた文化遺産を再び私たちの生きる地平に甦らせようという、強い心の核のことである。その想いは爆破によって消え去ったパームヤン東大仏の天井壁画を伝統の技と先端技術とを練り合わせて復元するというかたちで、昨年、東京藝術大学で実現をみた。三万人を越える人びとが訪れ、復元壁画に見入った。礼拝者しか目にするのでできなかった聖なる宗教画が原作のオーラを失うことなく、そして時の経過とともに薄れ、失われた線描と

色彩を取り戻し、再び原景を甦らせて、人びとの心を掴んだのである。

今回の《素心伝心》展は、前回の素志とその成果を受け継ぎ、対象世界をさらに拡大し、文化財保存の《保存・活用》に新分野を切り開こうという試みである。文化遺産の《活用》は、先端技術の応用と大胆な視野の拡大など多角的な活動に支えられなければ《有効》なものとはならない。《素心伝心》展は、あの大仏再建を可能にした《知識結》の智を再び具現することでもある。

身近に見るシルクロードの神仏

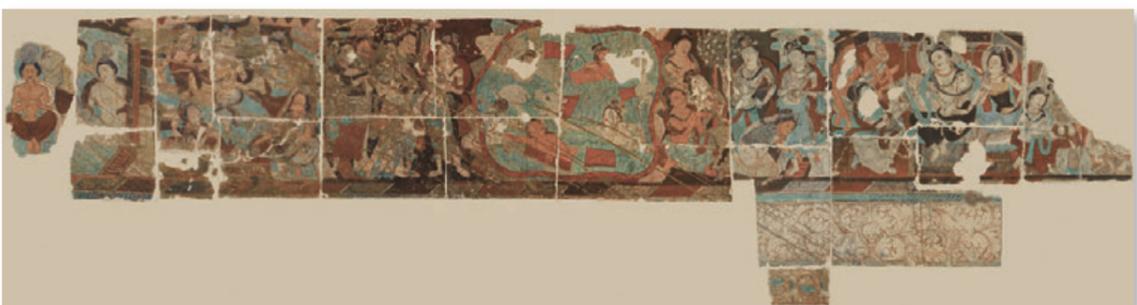
会場の入口に設置されるのは法隆寺金堂である。聖徳太子と同じ身丈につくられたという青銅の釈迦如来像が中尊であり、二体の挟像がマニ珠を両手の指にはさんで左右に立つ。この門外不出の国宝釈迦三尊像を、東京藝術大学は新たな計測技術、高精細デジタル写真撮影などを駆使して得られたデータと高岡市と南砺市（いずれも富山県）が保持する伝統的な鋳物技術とを併用することで同素材、同質感を失うことなく複製・再現することに成功した。中尊を包む大光背も、その周辺に点在する小穴から火炎に舞う飛天が想定され復元が試みられた。三尊は燃える火炎に包まれて印象を一変させる。金堂外陣の大壁四面に描かれた四方四仏



東京藝術大学客員教授
前田 耕作
(まえだ・こうさく)

と小壁に描かれた八大菩薩の計十二面の焼損した壁画も甦り皆さんの来場を待ちうける。聖徳太子の

金堂を出ればすでに海の彼方である。影響をおよぼした



復元されたキジル石窟の「航海者窟」（クローン文化財）



復元されたタジキスタンのペンジケント遺跡の壁画（クローン文化財）

仏教思想に大きな影響をおよぼしたといわれる高句麗、その花崗岩の古墳に描かれた壁画、ついで中央アジア・西域の仏窟・壁画が迎え入れてくれる。長安の都を西域へとつなぐ河西回廊の彼方、天山山脈の南北のオアシ

スで営まれた交流文化の精華が敦煌とキジルである。敦煌莫高窟の仏教文化の保全にいち早く力を注いだのが平山郁夫先生であつたことは誰もが知るところであろう。先生の志は今も受け継がれている。敦煌研究院の全面的な協力を得て唐代仏窟の典型ともいえる第57窟（通称美人窟）が再現される。祈りと瞑想沈思の場であつた石窟は東から昇る太陽の光を迎え入れ、画像も彫像も時のうつろいとともその影像（エイドロ）を微妙に変えてゆく。東京藝術大学はうつろう日の光も窟内に採り入れる工夫をほどこし、壁画を荘厳する三つ世界の像（釈迦・阿弥陀・弥勒）に格別の彩りをあたえたのである。（修飾至麗）とはこの窟をいうのであろう。北壁を飾る弥勒浄土図にみる二人の僧がはく靴はわが国の正倉院にも伝えられている西域特製の靴で、今日でもシルクロードのオアシス都市で売られている。細見もまた楽しい。

神仏への信仰心が生んだ 古人の壮大な想い

西域南道（天山北路）の要衝であつた亀茲国で営まれた最大の仏教石窟の一窟、第212窟（通称航海者窟）も復元された。現在この石窟に残っている壁画は少なく、全体の三分の一にも満たない。失われた大部分は今世紀の初頭、ここを訪れたグリユンヴェーデル（一八五六〜一九一五）率いるドイツ探検隊に持ち去られたからである。この石窟を航海者窟と命名したのもグリユンヴェーデルであるが、壁画の「モティーフが航海と海での宝探し」になっているからであるという。砂漠に宝を求める探検隊にとっては同じモティーフを共有するものと映り、ひと



パームヤン東大仏龕天井壁画。2016年東京藝術大学COI拠点による想定復元図（クローン文化財）

きわ印象的でもあつたのであろう、空白の大壁面とそこに残された切り取りの激しい鑿跡が壁面剥奪のすさまじさを伝えている。それはまた破壊に明け暮れる二十世紀の始まりを予示しているかにさえみえる。この人為の空白をどのように埋めるか、クローン文化財復元の格闘の成果がみものである。

昨年話題となつたアフガニスタンのパームヤン大仏の天蓋とその壁画を最奥にらみながら、その前にタジキスタンのペンジケント遺跡から出土したソグドの絵画の前に足をとどめていただきたい。復元されたのは二枚の壁画で、それぞれ異なる場面を描くものでありながら、同じ王邸の壁面を飾っていたものである。頭光をつけ冠を頂き、ハープを奏でる女性はソグドにおいて水と豊穡の女神として広く信仰されたナナに仕える聖女であろう。戦闘図は英雄伝説に由来する。

最後に皆さんを待ち受けるのはパームヤンの太陽神ミストラである。中央アジアの外套をはためかし、四頭の白馬が曳く黄金造りの戦車に乗るミストラと大仏の壮大な出会いを実現させたパームヤンの古人に深い想いを馳せていただきたい。文化を総身に受け止める知性がかここには生きていたことを……。

《素心伝心》特別展へのご来場をお待ちしています。

エックス線CTを用いた 科学調査について

人の目では見えないものを見る。
エックス線を活用した科学技術の進歩は
文化財の保存・修復に大きな力を発揮している

文化財の科学調査

近年の文化財の調査はサンプリングを行わない調査が世界的に主流となったため、様々な波長の光をつかって文化財を非接触で調査する方法が多用されています。エックス線、紫外線、可視光、赤外線、マイクロ波、そして十数年前からはテラヘルツ波の有効性が認められて高松塚古墳壁画の調査などにも用いられています。このように多くの文化財調査で様々な波長の光学調査が行われていますが、テラヘルツを除く、先述の光を使った文化財の調査は特段新しいものではありません。しかし、昨今は機器を用いた調査結果がたびたび公表されるため進歩が著しいのではと感じます。それは検出部分の高感度化、高解像度化、機器の小型化、アプリケーション・ソフトウェアのライブラリー強化と解析技術の高性能化がもたらした効果です。そんなサンプリングを行わない文化財科学調査の流れの中で逆の方向に高出力大型化しているのがエックス線CTスキャナー（以下、*CT）です。今回はCTの活用事例と今後の活用方法について、CT撮影現場から述べていきたいと考えます。

1. CTについて

昨今、CTは多くの研究機関で設置が進んだため研究者の間では一般的な調査に



写真4. ハシェリエンプタハのミイラ調査

作者や現代の工芸作家の方との技法の研究なども行っています。

2. 修理前調査

当館では年間の計画に基づいて多くの収蔵作品を修理していますが、立体の作品においては必要に応じてエックス線撮影やCT調査を行うことから、修理設計や修理作業に入ります。作品の修理前構造調査は作品の状態が判り、適切な修理方針立案、修理方法決定に寄与できます。例えば、彫刻作品の接合部分においては接合方法が接着剤だけなのか？ または釘や鏝が用いられているかの確認が出来る上、その位置まで特定が可能になります。さらには接合箇所の位置、幅や厚みがわかりますので、作業者は接合部分を手探りで探す必要がな



写真5. 輸送方法の検討を行った作品。マドモアゼル・スザンヌ



写真7. マドモアゼル・スザンヌのCT画像。横からの断面画像

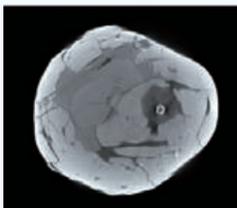


写真6. マドモアゼル・スザンヌのCT画像。上からの断面画像



写真8. 埴輪 犬



写真9. 埴輪 犬のハンズオン展示。制作方法と同じ手順で組み立てられる

なっていますが、私の恩師世代においては文化財をCTが設置されている病院に持ち込んで人体用のCTで調査する特別な調査でした。その後、出力の大きい工業用CTが奈良文化財研究所や九州国立博物館などの文化財を専門に扱う機関に設置されたことで文化財のCT調査の機会が増え、その効果が認識され今日に至っています。私が勤めている東京国立博物館でも二〇一四年によく稼働を開始しましたが、その内の一台はエックス線の出力が600[kV]と高出力で、二メートル五十センチメートルまでの大型文化財の設置撮影が可能な装置です（重量は500[kg]まで、写真1）。

当館では一般的なCTでは調査できない大きさや、厚い金属製であるゆえにCT調査が行えなかった国内外の多くの大型文化財の調査の依頼が様々な機関から寄せられ、調査を行ってきました。

2. CTの原理

昨今の文化財調査で使われている多くのCTは、回転する撮影台（ターンテーブル）に撮影対象を乗せ、回転しながら全方向からのエックス線撮影を行い、その結果をコンピュータが計算（画像の構築）して画像を得る調査手法です（図1）。得られた画像は従来のエックス線撮影画像に比べ、ひずみ等も少なく、必要な層だけを観察することが可能となるため、画像の読み取りが

く、手数を減らすことができます。

3. 輸送前構造調査

二〇一五年に東京都美術館で催された展覧会「伝説の洋画家たち 二科百年展」に当館から貸与して展示した作品は事前に見えなかった亀裂が確認できたため、輸送前CT調査を行い内部のヒビや構造を確認した後、輸送方法を決定しました（写真5、6、7）。

4. 教育

所蔵品のハンズオンへの活用。埴輪「犬」のCT撮影データを元にハンズオン用の模造を作成し、展示に活用しています（写真8、9）。

今後のCT活用について

1. 現実化していないが、活用が可能な分野

・梱包、展示への活用
先の項目で記しましたように輸送前調査で得たデータを用いて梱包材料（衝撃吸収材）を削り出し、作品の形状に合わせた梱包材料の制作が可能になると考えます。

また、CTデータを交換して三次元プリンターで作った実寸大の模造を作り、展示に使う支持具を模造で直に合わせながら



東京国立博物館
学芸研究部 保存修復課
調査分析室長
荒木 臣紀
(あき・のみこ)



写真1. 第二、第三代併用垂直型CTスキャナー
垂直撮影：直径2.5m、高さ2.5m、500kgの文化財を台車ごと搬入設置し、立てて撮影。世界最大級のCT。
エックス線発生管：最大出力600kV（80mmの純鉄を断層撮影が可能）



写真2. 第三代水平型CTスキャナー（立てられない文化財が撮影できる）
水平撮影：直径約1m、長さ2.5m、約100kgの文化財を水平方向に設置し、垂直方向に輪切りにした断層撮影が可能。博物館等では前例のないCT。
エックス線発生管：最大出力450kV（60mm程度の純鉄を断層撮影が可能）

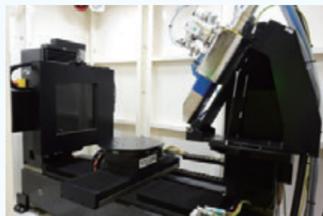


写真3. プレジジョンCT装置
管電圧：10～225kVマイクロフォーカスエックス線発生管
焦点寸法：6μm
フラットパネルディテクターによる画像取得

ら制作することで、魅力的で安全な展示支持具が作れると思います。もちろん、先述の文化財の形に合わせた緩衝材や輸送の固定方法の検討も複製を用いて行えば、より安全な輸送が可能になると考えます。

・修理技術の可視化

修理後の作品をCT撮影し、作業者が行った施工箇所の内側を確認することで作業者は施工作業の結果を視覚化して認識することができます。これにより施工した技術を内側まで説明ができるようになります。修理技術の正確性向上と発展につながります。

2. 模造（リバーシエンジンリング）

光学三次元計測との併用による文化財の外側形状の詳細な記録と形状の再現が可能になり、模造の効率化と正確性向上に寄与できると考えます。

CT調査、これからの課題

1. 画像診断学への発展と人材不足
文化財は様々な材質が組み合わさって構成していることが多く、得られたCT画像からの解釈が難しく、エックス線に関する

以前のエックス線撮影に比べて容易に行えます。

東京国立博物館でのエックス線CT活用

1. 調査

当館の所蔵品であるテーベ出土の古代エジプトのハシェリエンプタハのミイラ（写真4）をはじめとして、館蔵品の学術的調査を工芸、彫刻、考古の分野を中心に行っています。また、当館で催した特別展で展示された作品で、所蔵者から御希望があった場合などもCT調査を行っています。所蔵品以外という点では国内外のいくつもの他機関と共同調査も行っており、大英博物館所蔵の「双羊尊」が根津美術館で根津美術館所蔵の「双羊尊」と一緒に展示された際は英国帰国前に「二つの双羊尊」の調査を三館共同で行いました。その他には東京都や埼玉県などの行政機関が実施している修理事業、発掘事業への調査協力や、楽器製

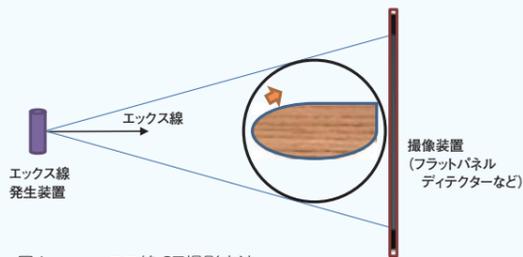


図1. エックス線CT撮影方法
文化財を乗せたターンテーブルが回り、全方向からエックス線撮影を行う。

*コンピュータ断層撮影 (Computed Tomography)

筆者略歴

東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学保存科学専攻修了
文化庁芸術家在外派遣研修員として
ジョージストマンハウス国際写真美術館(米)でインターン
写真修復工房The Better Image インターン
平成12年(2000)：有限会社文化財保存(現、株式会社文化財保存)入社、
平成20年(2008)：東京国立博物館学芸研究部保存修復課環境保存室主任研究員
平成26年(2014)より現職

力が問われる時代になってきていると感じています。

指揮者の仕事

指揮者とは

「世界一狭い仕事場で、空中に怪しげで抽象的な図形を描き、ただ一人、失礼ながらお客様に背を向けられる仕事」

私の師匠であった故遠藤雅古先生（元東京藝術大学音楽学部指揮科教授）は、指揮者という仕事をそう諭した。一般的には、指揮者は「華麗」で「カッコイイ」仕事とされるが、お客様が見るその一面は、指揮者の仕事のほんの一部にすぎない。その仕事のほとんどが、実はデスクワークを中心とした指揮台以外での仕事なのである。



熱演を終えて満面の笑みで応える筆者

オーケストラを従え、華麗に
指揮棒をふるうマエストロ。
しかし、それは指揮者のほんの
一部の仕事にすぎない……。

私は東京藝術大学音楽学部指揮科（東京藝術大学以下「藝大」）に勤務している。藝大の二年生〜四年生の管弦打楽器のほぼ全員が必修する学生オーケストラの授業統括と、今年四月に、日本オーケストラ連盟の準会員オケとして加盟した「藝大フィルハーモニア管弦楽団（藝大の教員で組織するオーケストラ）」の事務局長が私の藝大での主な仕事である。したがって、藝大を訪れた指揮者、指揮科の教員とは、指揮科助手時代からを含め、今年で藝大在職二十年目を数える私こそが、一番多く出合っていると自負している。私の出会った指揮者の一人ひとりとはとても個性が強く、またそれぞれ「伝説」と呼ばれるエピソードもお持ちである。特に過去の指揮者は皆、ツワモノだった。

・「田園」を演奏しなければならぬのに、いきなり「運命」と勘違いして振り始めてしまった指揮者。

・難曲の演奏に奏者を安心させようと「自分の指揮を信じて」と言っておきながら、本番での指揮の最中「今、何処？何処なの？」とコンサートマスターに尋ねる指揮者。

・指揮台から落ちてしまい、それでも指揮台によし登って、また振り出す指揮者。

もちろん、その諸先輩方は、あまりにも偉大で、絶対的な楽員や学生からの信頼を勝ち得ていたからこそ、当時それらが許され、そして本番では結局ことなきを得、今は笑い話となって「伝説」とされているが、現代においてはそうそう許されるものではない。オーケストラを指揮する指揮者は、譜面台をコンコンと叩

先生に言われたままに油絵を描く真似をしてみる。「今度は水彩画を……」と言われ、同じように水彩画を描く真似をしてみる。

「ほうら、持ち方が違うだろう！君のお父さんは確か、細工物を専門に作る建具屋さんだったよね。お父さんが細かく「げんのう」を打つ手元を見てごらん。大工さんが五寸釘を打つ持ち方とは違うから。要は「指揮棒の先で何がしたいか」だよ」

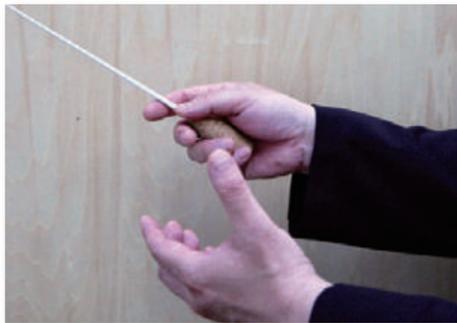
先生は、ご自身の長年の研究と経験からこの例えを導き出された。その後、先生のレッスンを拝見する機会が増え、右手で団扇を持たせて指揮をさせながら扇がせ、左手で空のペットボトルと水を入れた物とを交互に上げ下げさせて、強弱を指示する左腕の筋肉の使い方など、的確に身体の使い方を教えてもらった。

「指揮者はパントマイムだよ、その動作で奏者に自分の音と音楽を伝えなければいけないのだから（佐藤功太郎先生談）」

趣味も指揮のため

指揮者にとって暗譜をすることは難しく、かつ重要な仕事の一つである。私自身、その仕事を皆がどの様に工夫してやっているのかは非常に興味のあるところであった。そんな中、同じく藝大指揮科にいらした小林研一郎教授は私にこう教えてくださった。

「私は将棋を指すのね（先生は言わずと知れた将棋の名人である）。将棋というのは対局が終わった後、必ず感想戦を行い、初手から指し直したり、時には投了から逆回しに手を戻していくことをするの。それを私は音楽でもするの」



指揮棒の正しい持ち方とは……



作曲家の自筆譜にある「赤字の書き込み」を楽譜に転記する

指揮台に臨むまで

指揮者というと、あたかもCDプレーヤーの前で指揮を練習しているイメージがあるが、実際には全くそのようなことはない。指揮とは演奏に合わせ動作をするのではなく、自分の動きによって音を出させるからである。それよりも、まずは、指揮者の持つ総譜（スコア）を嫌というほど読み込み、時にはひとりでトランプ楽器で演奏したり、歌ったり、さらに、多くの出版社の楽譜、作曲家自身が書いた自筆譜と比べ、自分自身の総譜に訂正や多くの書き込みを加え、たくさん時間をかけて初めてリハーサルで指揮台に立つ。

先生がおっしゃるには、暗譜ができてくるかを確認するのに、最初から楽譜を思い出すのではなく、曲の最後から逆回しに頭の中で曲を演奏し、確認していくのである。なるほど、最初からだと何となく覚えているような気がしているのだが、最後からとなると、暗譜の不完全な箇所はなかなか楽譜や音を再現できない。「指揮者にとって、趣味も指揮をするためにあるの（小林研一郎先生談）」

いて「違う！違う！」などと声を荒げているイメージがあるが、現実では全くそんなことはない。「よろしくお願い致します」こそが、演奏家に向けての指揮者の大切な言葉である。

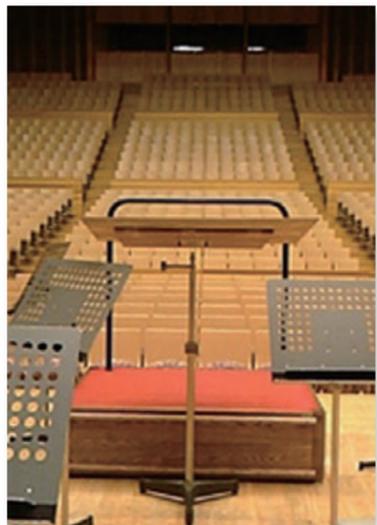
指揮者とは、多いときは合唱団も含め二百人以上の演奏者に対峙し、一人そのプレッシャーに耐え、受け止め、音楽をまとめるリーダーとして奏者に的確に指示をする……そんな必死で孤独な仕事である。しかし、その一方で「マエストロ」と称され、楽屋は一番上等の個室を与えられ、演奏者の中心に立って一人お辞儀をし、観客の喝采を受ける。それは、指揮台以外の確固たる裏付けこそが、観客や演奏者を感動、納得させているからである。そんな指揮者の仕事を紹介していきたいと思う。

指揮者はパントマイムだよ

私は以前、ある時を境に何故か、指揮棒の持ち方に悩んでしまったことがあった。困り果てた挙句、当時、藝大の指揮科教授でいらした故佐藤功太郎先生に「どのように指揮棒を持ったら良いか」と伺った。「酒井くん、僕はね、自分の弟子に『職人さんの手を見る』って言うんだよ」

そうおっしゃりながら、水彩画の筆と油絵の筆を買ってくるように指示された。……早速、昼休みに美術学部の生協で購入してくる。

「油絵の筆に油絵の絵の具を乗せて、絵をかく真似をしてごらん？」と佐藤先生。



指揮台は孤独な戦場

現在、藝大にいらつしやる先生方の楽譜に対しての勉強からは、並々ならぬ努力はもちろんのこと、作曲家の想いを楽譜から読み取る「執念」のようなものを感じる時さえある。どのようなリハーサルの手順でやれば極めて効率的にできるかなど綿密に計画することも含め、それぞれの指揮者が皆、多くの時間を指揮台以外で過ごし、リハーサルや演奏会に向けて十分準備してから、その狭い孤独で、不安で、そして華麗な指揮台へと臨んでいく。

※ ※ ※

指揮者一人ひとり、それぞれの多くは見えない努力を重ね、最後のほんの一部の時間を指揮台という仕事場で一気に披露する。たくさんの方々に演奏会にお越し頂き、指揮者達の見えない時間を想像していただき、演奏を楽しみ、応援していただければ幸いです。

筆者略歴

一九六一年生まれ。指揮を故遠藤雅古氏、小林研一郎氏に師事。八年間にわたり埼玉県で中学校教諭としての経験の後、指揮者に転身。一九九八年から東京藝術大学音楽学部指揮科助手及び助教を経て、現職。藝大フィルハーモニア管弦楽団事務局長。NPO法人人材育成支援センター監事等を兼務。

東京藝術大学音楽学部
指揮科准教授
酒井敦
(さかいあつし)

妙高だより

—天心の心に想いを馳せて

新潟県妙高市赤倉、ここは明治が生んだ美術思想家・岡倉天心の終焉の地として知られる。天心がこの地に求めたものは、日本の芸術活動の拠点を築くことだった。その心を継ぐ人々の手によって……。

30年ぶりの邂逅

恒例の「妙高夏の芸術学校」は、本年は去る七月二十七日から三〇日までの四日間、妙高夏の芸術学校実行委員会主催のもとで開かれました。当財団は共催



開校式で名誉校長として挨拶をする宮廻正明理事長

という形で協力いたしました。開校式の式場は妙高高原メッセ。夏の芸術学校も今回で二十二回を数えるにあつて、万事手ぎわよく進められました。当財



校長先生は佐藤一郎金沢美術工芸大学大学院教授（東京藝術大学名誉教授）

団の理事長でもある東京藝術大学の宮廻正明教授が、名誉校長として初めて出席しました。

宮廻理事長にとっては、かつて恩師である平山郁夫先生のお伴で妙高の地を訪れたことがあるそうで、もともとそうは言っても三〇年も前の話ですよ、とのこと。

その意味では、妙高訪問はセンチメンタル・ジャーニー的であったかもしれません。

駅のホームで

平成二十七年（二〇一五）の北陸新幹線の開業に伴い、妙高高原駅はJR東日本の信越本線としての役目を終え、長野県側の「しなの鉄道」と新潟県側の「えちごトキめき鉄道」の境界駅となりました。いわゆる第三セクターの経営の駅というわけです。とは言え、駅そのものの機能ががらりと変わったわけではありません。開校式に出席すべく長野駅で新幹線から、しなの鉄道へ。

妙高高原の駅のホームで宮廻理事長と私の前をひとりのお年寄り女性が、ゆっくりと歩を進めていました。所持している荷物等から芸術学校の受講生の方であることは、すぐにわかりました。

ホームの階段の昇りが大変そうだったので理事長とアシストした次第。



苗名滝にて。左から当財団の丸山事務局長、宮廻理事長、筆者、村山正博実行委員長、小林啓一妙高市教育長

住みつき、彼らは村人の姿や風景をキャンパスに残しました。パビロンは当時の新芸術文化運動の拠点となり、ここに、「パビロン派」とよばれる名称が生まれます。コロ、ミレ、ルソーといった芸術家とその代表的な存在です。

少子高齢化の波の中で

天心は、この響に倣って、妙高赤倉に明治という新しい時代にふさわしい日本の芸術活動の拠点を築こうと考えていました。

しかし、五〇年という生涯——天心のこの世における持ち時間は余りにも短かすぎました。

話を元に戻せば、夏の芸術学校の設立は、一九九六年、当時東京藝術大学学長の職にあった、平山郁夫先生が御自身も天心の系統につながる画家にあたるため、妙高・赤倉に新しい芸術拠点を築こうという「妙高パビロン構想」を推し進めていたことが契機となっています。



「いもり池」のプロムナードを散策する宮廻理事長。モネの作品を連想させるようなハスの花

こうしてみると、妙高夏の芸術学校は、巨人・岡倉天心の文化芸術思想を主流とするならば、その流れをくむ支流と言えるかもしれません。末永くこの流れを続けたい。そう思うのが人の情だと思えます。しかし、現実を目をむけてみると、事は甘くありません。前期のように受講生の数が右肩下がりになっているのが最大の課題です。パビロン派の芸術家たちは、それまでの美の流れを自分たちの信ずる手法、表現力を通して変えてゆきました。その原動力は「若さ」だったのでしょう。わが、妙高パビロン構想はどうすべきでありましょうか。夏の芸術学校は「時代」に挑戦しているわけではありません。多くの受講生の皆さんは芸術を通して人生を楽しんでおられます。基本的には、それだけでよいと思います。

財団専務理事 小宮浩 (こみや・ひろし)

うかがうと、もう六年も毎年受講されているとのこと。年齢も八〇歳を超えたので、今年が最後、という気持ちでまいりました。と、おっしゃる。

妙高赤倉とパビロン

開校式は午後一時より。名誉校長として宮廻理事長は、師・平山郁夫先生との思い出を交えながら芸術の魅力、素晴らしさを御自身の体験を元に熱く説かれました。そして受講生の方々を激励。

開校式で気になったことが二つ。それは前記のように受講生の方々が高齢化していること。もう一つは、受講生の減少に歯どめがなかなかかからないことです。

周知の通り妙高赤倉の地は天心・岡倉寛三（一八六二—一九一三）の終焉の地です。

天心は非常にバランス感覚に優れた人で、欧米や中国やインドを歴訪した経験によって、磨かれた国際感覚をもって、日本の芸術を論じました。

晩年の天心は、妙高・赤倉の自然が気に入って、ここに山荘を建てて「東洋のパビロン構想」を練っていました。

パビロンとは、フランスのバリ郊外のフォンテンブローの森に隣接する村の名前。時代は十九世紀。豊かな自然に恵まれたこの地に魅せられた芸術家たちが



アジサイの原種とされる自生するガクアジサイ。妙高の自然の豊かさの象徴である



天心六角堂。2012年の豪雪で甚大な被害にあった際には財団は修復のための助成を行った

この報告の中で最後になりますが、妙高市ならびに関連諸機関の皆さま方の熱意、御努力には心より敬意を表する次第です。ところで、ひとつだけお願いがあります。

それは小学生を中心とした低学年生のコースの一層の拡大です。このコースは父兄同伴のケースが多く、そのため親子そろって「芸術」の雰囲気を感じ、楽しむことが魅力です。こうした体験が未来の芸術家を育て、あるいは教養人を育てる種まきになるのだと信じます。

※ ※ ※

蒸暑さの中にも、時折り秋を思わせるような風が吹く妙高。宮廻理事長は、天心六角堂、いもり池、苗名滝等々、受講生の写生ポイントを視察。夏の芸術学校のさらなる発展策を胸に秘め帰られました。

「門」をめぐる物語

財団の事務局から徒歩五分の圏内に重文指定の「門」が三つある。しかし、四番目の門は……。

個性あふれる三つの門

上野公園一帯は、都心にあつて「古都」の雰囲気味わえる地区である。それだけに歴史的建造物も多い。今回はその中で「門」に注目してみる。

輪王寺は東京国立博物館の東に位置する天台宗の古刹。切妻造り本瓦葺、潜門付きの医薬門は通称・黒門として知られる。元は寛永寺の旧本坊の表門であった。この門扉には、慶応四年（一八六八）の上野戦争の時の弾痕がある。それは官軍



輪王寺の通称・黒門



旧因州池田屋敷表門



蔵有院靈廟勅額門

に敗れた彰義隊の若人の涙のようにも思える。

この黒門前を通り、道路沿いに西へ進む。東京国立博物館の正門を過ぎると、すぐ目に入ってくるのが、旧因州池田屋敷表門。さまざまの門とでもいうのか、この門は鳥取藩池田家江戸屋敷の正門であった。創建は江戸末期では……とのこと。

旧丸の内大名小路にあつた屋敷から、明治時代に当時の東宮御所の正門に、そして高松宮邸に、現在の地に移築されたのは昭和二十九年（一九五四）であった。

入母屋造りの屋根、左右に向唐破風屋根の番所を備えた堂々たる姿は、まさに大名屋敷の門にふさわしい。それほど遠くない位置にある東京大学の旧加賀藩主前田家上屋敷の御守殿門、通称・赤門と並び称される江戸の大名屋敷表門である。ちなみにこの門も通称・黒門とよばれている。

池田屋敷表門のほぼ反対側に寛永寺の墓地がある。周知の通り、寛永寺は芝の増上寺と共に、徳川將軍家の菩提寺である。寛永寺には、四代家綱、五代綱吉、八代吉宗、十代家治、十一代家斉、十三代家定の六人の歴代將軍が眠っている。

幕末の上野戦争以来、関東大震災、先の大戦の際の東京大空襲等で寛永寺の壮大な伽藍や徳川家霊廟は焼失した。と、言っても全てではない。

東京国立博物館裏手を通る道路に面して建つ蔵有院靈廟勅額門も、わずかに残った建造物の一つである。蔵有院とは第四代將軍・徳川家綱（一六四一〜一六八〇）の諡号である。

常憲院（綱吉）霊廟と共に蔵有院霊廟の建築物として知られ、旧国宝に指定されていた貴重な建造物であったが、太平洋戦争の末期の東京大空襲で前記のように焼失してしまつた。

蔵有院霊廟勅額門の周囲にはソメイヨシノがある。花の季節、桜吹雪の中、かつての姿に想いを

寄せるのも、また一興である。紹介した三つの門は現在、国の重要文化財の指定を受けている。

広くて狭い門



東京藝術大学正門

財団事務局より徒歩二分で、東京藝術大学の正門に着く。赤煉瓦造りの門柱と木製の門扉。なんの変哲もない門と言え

ば、それまでだが、この門は明治二十二年（一八八九）の創建とか。

東京藝術大学は本年度創立一三〇周年を迎えた。学生たちの才能あふれる変人・奇人（？）ぶりを描いた「最後の秘境」なる書が大いに売れたようだが、素顔の藝大は極めて常識的なのである。

正門のあるキャンパスは音楽学部、道路を隔て美術学部のキャンパス。それぞれのキャンパスには演奏堂、美術館もあり、一般の方たちの出入りは他の大学にくらべて頻繁と言えよう。その意味では、東京藝術大学の門は広き門である。

しかし、学生としてこの門をめざすには大変である。その意味では、こちらは今も昔も狭き門であることに変わらない。（財団事務局記 写真・丸山純一）

役員等のご紹介

当財団の役員等を左記のとおりご紹介いたします。

◎理事（十一名）

理事長 宮廻 正明 東京藝術大学 教授

副理事長 青柳 正規 東京藝術大学 社会連携センター 特任教授

専務理事 小宮 浩 当財団 専務理事

理事 石井 直 (株) 電通 顧問

伊東信一郎 ANAホールディングス(株) 代表取締役会長

久代 信次 (株) 東京ドーム 代表取締役会長

澤 和樹 東京藝術大学 学長

滝 久雄 (株) NKB 取締役会長兼創業社長

谷川 史郎 NTT都市開発(株) 社外取締役

西浦 忠輝 特定非営利活動法人

野口 昇 (公社) 日本ユネスコ協会連盟 副会長

◎監事（二名）

西巻 茂 税理士

布施 謙吉 弁護士

◎評議員（二十一名）

秋山耿太郎 朝日新聞社 顧問

池田 政治 東京工科大学 デザイン学部長

板野 裕爾 (株) NHKエンタープライズ 代表取締役社長

井上 洋一 東京国立博物館 副館長

浦井 正明 寛永寺 長脇

遠藤 充 (株) 三越伊勢丹 呉服・美術統括部 美術商品部長

奥島 孝康 白鷗大学 学長

加賀 信子 (株) 高島屋 美術部長

是枝 伸彦 (株) ミロク情報サービス 代表取締役会長

酒井 裕 (株) 精養軒 代表取締役社長

佐藤 一郎 金沢美術工芸大学 教授

白井 勝也 (株) 小学館 最高顧問

澄川 喜一 (公社) 横浜市芸術文化振興財団 理事長

高橋 司 (公社) 鹿島美術財団 常務理事

野間 省伸 (株) 講談社 代表取締役社長

箱島 信一 (一財) 歴史民俗博物館振興会 理事

土生 修一 (公社) 日本記者クラブ 事務局長

原田真由美 読売新聞 東京本社 事業局長兼文化事業部長

日比野克彦 東京藝術大学 美術学部長

真室 佳武 東京都美術館 館長

水野敬三郎 東京藝術大学 名誉教授

◎顧問（二名）

玉井 賢二 (公社) 平山郁夫シルクロード 美術館 副理事長

二〇一七年七月現在 敬称略／五十音順

文化財保存修復支援カレンダー 募金のお知らせ

二〇一七年のカレンダーは、「第68回全国カレンダー展」で見事、文部科学大臣賞を受賞しました。

二〇一八年のカレンダーは、昨年引き続き、出光美術館所蔵の国宝「伴大納言絵巻」を、東京藝術大学大学院美術研究科日本画研究室が現状模写した作品を題材にし、今回で六年目となります。

平安時代における四大絵巻の一つで、実際に起きた事件をもとに制作された壮大な歴史ドラマが描かれています。上、中、下巻に分かれています。

財団事務局より徒歩二分で、東京藝術大学の正門に着く。赤煉瓦造りの門柱と木製の門扉。なんの変哲もない門と言え

ば、それまでだが、この門は明治二十二年（一八八九）の創建とか。

東京藝術大学は本年度創立一三〇周年を迎えた。学生たちの才能あふれる変人・奇人（？）ぶりを描いた「最後の秘境」なる書が大いに売れたようだが、素顔の藝大は極めて常識的なのである。

正門のあるキャンパスは音楽学部、道路を隔て美術学部のキャンパス。それぞれのキャンパスには演奏堂、美術館もあり、一般の方たちの出入りは他の大学にくらべて頻繁と言えよう。その意味では、東京藝術大学の門は広き門である。

しかし、学生としてこの門をめざすには大変である。その意味では、こちらは今も昔も狭き門であることに変わらない。（財団事務局記 写真・丸山純一）

もって代えさせていただきます。

◎応募先

〒一〇一〇〇七七

台東区上野公園十二一五

(公社) 文化財保護・芸術研究助成財団

カレンダー・プレゼント係

◎締切

平成二十九年十一月末日

お願い

◎熊本地震被災文化財の救援と復旧のための募金のお知らせ

昨年四月以降、熊本県を中心に発生した熊本地震により被災した文化財の救援・修復支援事業につきましては、当広報誌においてご報告し、また、被害状況等についてもお知らせしているところであります。当財団は、文化庁はじめ関係諸機関と協力し、被災文化財の救援・復旧活動を進めているところであり、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

募金のお振込み手続きは左記の銀行振込又は郵便振替によりお願い申し上げます。

* 銀行振込 ①銀行名②口座番号③名義

①三井住友銀行 上野支店

②普通 8399622

③(公社)文化財保護・芸術研究助成財団 ※銀行振込の場合、振込者の確認が難しいため、領収書、お礼状の発行等の必要

上、財団事務局に事前にご連絡をいただくと幸いです。

(電話) 〇三―五六八五―二三二一

郵便振替 ①振替番号②加入者名

①00160・5・12319

②(公財)文化財保護・芸術研究助成財団
※通信欄に「熊本地震」とお書きください。
◎賛助会員ご入会並びにご寄付のお願い
《賛助会員》

当財団では、財団の活動趣旨にご理解、ご賛同いただき、恒常的にご支援いただける法人、個人の賛助会員を募集しています。
法人正会員 年額(1口) 50万円
個人正会員 年額(1口) 1万円
維持会員 年額(1口) 10万円
《ご寄付》
賛助会員の他に、ご寄付も随時受け付けております。ご寄付の方法はいろいろありますので、左記のとおりご紹介いたします。詳細は当財団事務局又は左記の問い合わせ先まで。

- ①銀行振込又は郵便振替
銀行振込や郵便振替でもご寄付を受け付けております。
- ②特定寄付信託
信託した金銭を運用収益とともに寄付するものです。当財団はみずほ信託銀行と特定寄付信託に関して契約しています。
問合せ みずほ信託銀行(03・3274・9203)
- ③YAHOO! JAPAN ネット募金
クレジットカード又はTポイントにより寄付するものです。
ネットからYAHOO! JAPAN ネット募金を選択、「文化・スポーツ」を選択、「文化財保存修復募金」からご寄付できます。
- ④遺贈
遺言によるご寄付も受け付けております。
- ⑤商品券・図書券等による寄付
ご家庭のタンスや事務室の机等の中で眠っている、未使用の商品券、図書券、切手、収入印紙、ビール券、お米券、旅行券、QUOカード、テレホンカード、書き損じ

- ①五浦観月会110年記念「月下道遙」
十月五日(木)～十二月十七日(日)
☆台東区立下町風俗資料館
(03・三八二二・七四五)
- ☆台東区立朝倉彫塑館
(03・三八二二・四五四)
- ①開館50年記念特別展
「猫百態―朝倉彫塑館の猫たち―」
九月二日(土)～十二月二十四日(日)
☆台東区立書道博物館
(03・三八七二・二六四五)
- ①企画展「あの人、こんな字!―歴史上の人物たち―」
《中国編》九月二十二日(金)～十二月十七日(日)
《演奏会》
☆東京藝術大学音楽堂
(03・五五二五・二三〇〇)
- ①管打楽器シリーズ2017
十月二十九日(日)十五時～(二千円)
②上野の森オルガンシリーズ2017
フレスコバルデイへのオマージュ
十一月三日(金・祝)十五時～(二千円)
③東京藝大音楽学部附属音楽高等学校
定期演奏会第29回
十一月四日(土)十四時～(無料)
※事前申込制 問合せ先 〇五〇・五五二五・二四〇六
④ピアノ・シリーズ2017
ピアノ・デュオの楽しみ
十一月五日(日)十五時(三千円)
⑤モーニング・コンサートII
十一月九日(木)十一時～(千円)
⑥藝大定期邦楽第84回
十一月十日(金)十八時～(二千円)
⑦うたシリーズ
十一月十一日(土)十五時～(二千円)
⑧藝大フィルハーモニア管弦楽団
合唱定期演奏会(藝大定期第384回)
十一月十八日(土)十五時～(三千円)

葉書等もご寄付として受け入れております。
お送りいただく場合は、当財団事務局宛てに封書にて郵送下さい。

●税法上の優遇措置
当財団は、「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、賛助会費・寄付金(募金)には税法上の優遇措置が適用され、所得税、法人税等の控除が受けられます。詳しくは当財団ホームページでご確認いただくか事務局までお問い合わせください。

☆財団案内及び賛助会員入会申込書のご請求、その他ご質問等お問い合わせは財団事務局までご連絡をお願いいたします。

賛助会員ご入会とご寄付を頂きました皆様

- ◎平成29年5月26日から9月25日まで 敬称略/順不同
- ☆賛助会員
 - ◎個人(維持)会員
 - ◎個人(正)会員

- ☆寄付金
- ◎文化財保存修復・芸術研究等助成事業
ヤフーネット募金(250名様)
- ◎松尾大社本殿等修復支援事業
平成の御遷宮奉賛会(48件)
- ◎東日本大震災被災文化財救援・復旧支援事業
熊本地震被災文化財救援・修復支援事業
長崎県美術館

- ⑨東京藝大シンフォニーオーケストラ
定期演奏会第57回(藝大定期第385回)
十一月十九日(日)十五時～(千五百円)
- ⑩東京藝大ウインドオーケストラ定期84回
十一月二十三日(木・祝)十四時～
(一般千五百円・高校生以下五百円)
⑪藝大プロジェクト2017
ビバ! エスパニーニャ! グラナダスのスペインIVギターへの誘い〜クラシックからフラメンコまで
十一月二十五日(土)十四時～(三千円)
☆東京文化会館
(03・三八二二・二二二)
- ①シャインニング・シリーズVol.1
レクチャークンサート「漱石の体験した洋楽―室内楽と喜劇劇《ポッカチオ》―」
十月二十八日(土)十五時～(三千円)
②東京文化会館オペラBOX[Heidi, Heidi, Hei!]
ロポリンクスだ!〜エイリアン襲来!!〜
十一月四日(土)十五時～(三千円)
③上野deクラシック 石井楓子&富永愛子(ピアノ)
十一月十一日(土)十四時～(千五百円)
④上野deクラシック 副田真之介(オーボエ)
十一月十六日(木)十一時～(五百円)
⑤プラチナ・シリーズ第3回
アントニオ・メネセス(チェロ)
十一月二十一日(火)十九時～(五千円他)
⑥ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)
十一月二十九日(水)～十二月三日(日)(五百円)
⑦上野deクラシック 村上敏明(テノール)
十一月十五日(金)十九時～(千円)
⑧プラチナ・シリーズ第4回
北村英治(クラリネット)他
十一月二十二日(金)十九時～(五千円他)
☆上野学園 石橋メモリアルホール
(03・三八四三・三〇四三)
①上野学園大学 短期大学部「第30回定期演奏会」

展覧会・演奏会等情報

本年も、上野の山文化施設では「上野の山文化ゾーンフェスティバル」として展示会や演奏会等様々な催し物を開催中(予定)です。その中で展覧会等の一部をご紹介しますので、ご利用のご参考にして下さい。詳細はそれぞれの主催者等にご確認ください。
(展覧会等)

- ☆東京国立博物館
(03・五七七七・八六〇〇ハローダイヤル)
- ①フランス人間国宝展
九月十二日(火)～十一月二十六日(日)
- ②興福寺中金堂再建記念特別展「運慶」
九月二十六日(火)～十一月二十六日(日)
- ③秋の庭園開放
十月二十四日(火)～十二月三日(日)
- ☆国立科学博物館
(03・五七七七・八六〇〇ハローダイヤル)
- ①企画展「フローラヤポニカ」
九月十二日(火)～十二月三日(日)
- ②特別展「古代アンデス文明展」
十月二十一日(土)～二〇一八年二月十八日(日)
- ☆国立西洋美術館
(03・五七七七・八六〇〇ハローダイヤル)
- ①企画展「北斎とジャポニスム」
HOKUSAIが西洋に与えた衝撃」
十月二十一日(土)～二〇一八年一月二十八日(日)
- ☆東京藝術大学美術館
(03・五七七七・八六〇〇ハローダイヤル)
- ①シルクロード特別企画展
「素心伝心」クローン文化財失われた刻の再生
九月二十三日(土・祝)～十月二十六日(木)
- ②「皇室の彩 百年前の文化プロジェクト」
十月二十八日(土)～十一月二十六日(日)
- ③「菅野健一 退任記念展
—Conditor almae siderum—」

- 十月二十八日(土)十三時～(無料)
- ②上野学園大学「第6回合唱定期演奏会」
十一月十七日(金)十九時～(千円)
- ③上野学園・古楽21世紀シリーズⅢ「マラソン・マレ その秘められた才能―ヴィオールからオペラまで―」
「古楽月間2017」
十一月十八日(土)十四時半～(四千五百円他)
- ④ランチタイム・コンサート「古楽への誘いX」
「古楽月間2017」
十一月二十二日(水)十二時十分～(無料)
- ⑤上野学園大学「第66回オーケストラ定期演奏会」
十一月二十四日(金)十九時～(千五百円)
- ⑥上野学園中学校総合演奏会
十一月二十五日(土)十一時～(無料)
- ⑦上野学園高等学校音楽科総合演奏会
十一月二十五日(土)十三時半～(無料)

今号の表紙

平山郁夫 清涼寺

清涼寺の地は、もとは「源氏物語」の主人公・光源氏のモデルともいわれる嵯峨天皇の皇子・源融(八二二～八九五)の「棲霞観」とよばれる山荘だった。ここに描かれている多宝塔は元禄三年(一七〇〇)建造と伝えられる。

清涼寺は「嵯峨釈迦堂」の通称で京の人々に親しまれている。その名の通り御本尊は国宝の釈迦如来立像である。開山は東大寺の僧だった禿然(？)一〇一六)だが、彼は志半ばで死去。その遺志を継いだのは、弟子の盛算だった。



清涼寺 2004年

清涼寺は「嵯峨釈迦堂」の通称で京の人々に親しまれている。その名の通り御本尊は国宝の釈迦如来立像である。開山は東大寺の僧だった禿然(？)一〇一六)だが、彼は志半ばで死去。その遺志を継いだのは、弟子の盛算だった。

- 十一月三日(金・祝)～十一月十二日(日)
- ④美術学部木戸修教授退任展(仮称)
十一月十六日(木)～十二月三日(日)
- ☆国立国会図書館 国際子ども図書館
(03・三八二二・二〇五三)
- ①展示会「日本の絵本の歩み―絵巻から現代の絵本まで―」
十一月一日(水)～十一月三十日(木)
- ☆黒田記念館
(03・五七七七・八六〇〇ハローダイヤル)
- ①「黒田記念室」原則毎週火・日曜日
- ②「特別室」十月三十一日(火)～十一月十二日(日)
- ☆東京都美術館
(03・三八二二・六九二二)
- ①特別展「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」
十月二十四日(火)～二〇一八年一月八日(月・祝)
- ②上野アーテリストプロジェクト
「現代の写真―映像を超えて―」
十一月十七日(金)～二〇一八年一月六日(土)
- ③東京都現代美術館所蔵 近代の写真展
十一月十七日(金)～二〇一八年一月六日(土)
- ☆東京都恩賜上野動物園
(03・三八二二・五一七一)
- ①ビバ! 鑄金・芸大生がやってきました!
十月三十一日(火)～十一月十九日(日)
- ☆上野の森美術館
(03・三八三三・四一九二)
- ①特別展「怖い絵」展
十月七日(土)～十二月十七日(日)
- ☆都立旧岩崎邸庭園
(03・三八二二・八三四〇)
- ①金唐紙ワークショップ
十一月四日(土)十時～十六時半
参加費 三千五百円(入園料別途)
※事前申込制
- ※詳細は旧岩崎邸庭園ホームページをご覧ください
☆横山大観記念館
(03・三八二二・一〇一七)

編集後記

事務局の周辺をキンモクセイの芳しい香りが席巻する季節となりました。そんな折、この六月に上野動物園で誕生したジャイアントパンダの雌の赤ちゃんが「香香」と命名されました。祝着至極であります。そこで巻頭言の福田園長の御挨拶を改めてお読みいただければ、と思います。

それにしても、体重一五〇グラムほどで生まれた赤ちゃんが、百日もたつと、六キロを超えるまでに成長するとは、大熊猫は、摩訶不思議な動物です。

もう一つの摩訶不思議な動物、人間様の世界は衆議院解散、総選挙とあいなりました。どこかでキナ臭さも漂う世界ですが、キンモクセイの方がはるかに人々の心を豊かにしてくれることは確かです。選挙で選ばれた新しい政府が、文化・芸術の香り高い日本の建設に邁進してくださることを希望します。

- 広報誌「絲綢之路」(シルクロード)
二〇一七年 秋号 通巻第八十五号
- ★平成二十九年十月十六日発行
 - ★編集発行/公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 事務局◎
〒110-0007 東京都台東区上野公園十二一五十五
電話 (03) 五八八五-1111
FAX (03) 五八八五-1115
URL: http://www.bunkazai.or.jp/
E-mail: jimukyoku@bunkazai.or.jp
 - ★印刷 株式会社 東都工芸印刷